

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 6月 2日

1 事業名	バレーボールのまちづくり事業	コード	113307
-------	----------------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	作成者 伊藤 雅章
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	スポーツの振興
		予算科目	バレーボールのまちづくり事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	バレーボールの振興及び競技人口の拡大「人づくりとまちづくり」「地域の活性化」「活力の創出」のため各種バレーボール大会等を開催する。			
目的	対象者	市民		
	意 図	市民スポーツの振興を図る。		

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・第12回岡谷カップフレンドシップバレーボール大会 <ul style="list-style-type: none"> (1) ソフトバレーボールの部 33チーム 216人 (2) ママさんバレーボールの部 11チーム 138人 (3) 高校生女子の部 24チーム 322人 (4) 小学生の部 52チーム 711人 (5) 高校生男子の部 12チーム 188人 ・小学生バレーボール教室 7チーム 88人 				
前年度の課題への対応	大会によっては、審判等について、諏訪湖周辺のバレーボール協会の関係者にも協力をいただいた。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	岡谷カップフレンドシップバレーボール大会開催数			単位	大会
実績値	6	6	5		
*指標の説明	岡谷カップフレンドシップバレーボール大会の開催数				
② 成果指標（指標名）	岡谷カップフレンドシップバレーボール大会参加者数			単位	人
目標値	1,515	1,941	1,966	1,966	
実績値	1,941	1,966	1,575		
達成度	128.1%	101.3%	80.1%		
*指標の説明	岡谷カップフレンドシップバレーボール大会の参加者数				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間における実績の最大値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	895,611	500,000	500,000	500,000
経常経費	895,611	500,000	500,000	500,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	0	0	0	0
正規職員の人数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 合計コスト(①+②)	895,611	500,000	500,000	500,000
前年度比		55.8%	100.0%	100.0%
財源内訳				
一般財源	895,611	500,000	500,000	500,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	149,269	83,333	100,000	
前年度比		55.8%	120.0%	
⑤ コストに関する補足説明	岡谷カップフレンドシップバレーボール大会中学生の部が大雪のため中止となったため。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
バレーボールのまちづくり事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	895,611	500,000	500,000	500,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	895,611	500,000	500,000	500,000
	割合	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		0
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		0
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

低い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	80.1%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	80.1%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 競技力の向上や市内の活性化につなげたいが、大会役員等の協力体制の不足が課題となっている。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 実行委員会のほかに、諏訪湖周辺のバレーボール協会の関係者にも協力いただけるよう、各部会において検討を図る。	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---